

(同時発表：京都府政記者クラブ、京都市政記者クラブ、京都経済記者クラブ、関西プレスクラブ)

令和7年10月15日

2025年度「CONNECT₂_こちこちの こちを こちあう」 を開催します。

文化庁・京都新聞では、2025年11月28日（金）から12月14日（日）まで、京都国立近代美術館ほかにおいて、文化芸術を通して多様性や共生社会のありかたについて関心を深めることを目的としたプロジェクト「CONNECT₂_（コネクト）」を開催いたします。

1. 概要

文化庁・京都新聞では、アートを通して、多様性や共生社会のありかたについて、障害のある方もない方も共に考え、語り合い、実践するプロジェクト「CONNECT₂_」を、今年も京都にて開催します。

12月の「障害者週間（3日～9日）」に合わせて、京都国立近代美術館など京都市岡崎公園内の文化施設において、様々な文化芸術プログラムを実施します。

2. 会期等

タイトル：2025年度「CONNECT₂_こちこちの こちを こちあう」

会 期：2025年11月28日（金）～12月14日（日）

会 場：京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館、ロームシアター京都、京都市動物園、京都市勧業館みやこめっせ

入場料：無料

URL：<https://connect-art.jp/>

3. 主催等

主 催：文化庁、京都新聞

共 催：京都府、京都市、京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市動物園

後 援：NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 力：京都障害者芸術祭実行委員会、きょうと障害者文化芸術推進機構、京都市勧業館みやこめっせ・京都伝統産業ミュージアム（株式会社京都産業振興センター）、日図デザイン博物館、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会、社会福祉法人なづな学園、一般財団法人たんぼぼの家

4. 取材

取材を希望される場合は、事前に「5. 問合せ先」までお問合せいただくようお願いします。

5. 問合せ先

「CONNECT₂₁」事務局（京都新聞COM）

（京都新聞COM営業局事業部内 担当：岩崎、向井、西森）

〒604-8567 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町634 ONEST京都烏丸スクエア

電話：075-255-9757 FAX：075-255-9763（受付時間：平日 10:00～17:00）

＜担当＞ 文化庁参事官（生活文化創造担当）付 共生社会推進担当 山口、佐橋 〒602-8959 京都市上京区下長者町通新町西入藪之内町 85 番 4 電話：075-451-9571 FAX：075-451-9589
--

プログラム詳細公開／

障害のある人もない人も、多様性や共生社会についてともに考える 17 日間

CONNECT⇔ こちこちの こちを こちあう

11月28日（金）から京都岡崎エリアで開催

障害のある人もない人も、多様性や共生社会についてともに考える17日間

A 17-day event, for those with or without disabilities, designed to consider coexistence and diversity.

CONNECT⇔

参加
無料
FREE

2025

11.28 金

〜▷ 12.14 日

こちこちの こちを こちあう

文化庁・京都新聞では、アートを通して多様性や共生社会のありかたについて、障害のある方もない方も共に考え、語り合い、実践するプロジェクト「CONNECT⇔（コネクト）～こちこちの こちを こちあう～」を、2025年11月28日（金）から12月14日（日）までの期間に開催します。京都の文化ゾーンである岡崎地域の美術館、図書館、劇場、動物園、展示会場などの文化施設が連携して、障害や属性に関わらずさまざまな方が気軽に文化・芸術にアクセスできるプロジェクトを行います。

6回目となる2025年度のテーマは「こちこちの こちを こちあう」。京都・岡崎公園エリアの6つの文化施設で、展示・ワークショップ・トークなど、17のプログラムを展開し、あなたと私の「こち」を解きほぐしあう＝「こちあう」体験の場をつくります。ぜひお気軽にご参加ください。

開催概要

【タイトル】2025年度「CONNECT⇔こちこちの こちを こちあう」

【会 期】2025年11月28日（金）～12月14日（日）

【会 場】京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館、ロームシアター京都、京都市動物園、京都市勧業館みやこめっせ

【主 催】文化庁、京都新聞

【共 催】京都府、京都市、京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市動物園

【後 援】NHK 京都放送局、KBS 京都、エフエム京都

【協 力】京都障害者芸術祭実行委員会、きょうと障害者文化芸術推進機構、京都市勧業館みやこめっせ・京都伝統産業ミュージアム（株式会社京都産業振興センター）、日図デザイン博物館、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会、社会福祉法人なづな学園、一般財団法人たんぼぼの家

【入 場 料】無料

【公式 WEB】<https://connect-art.jp/>

【事 務 局】京都新聞COM 営業局事業部

CONNECT₂は、誰もが鑑賞・参加できるためのサポートを行います！

(CONNECT₂での合理的配慮の取組)

CONNECT₂では、事業が開始した2020年度から、どなたでも参加いただけるよう、できる限り、鑑賞や参加に対するサポートを進めてきました。各プログラム・イベントは障害の有無などに関わらず、どなたでもお申込み・ご参加いただけます。

各プログラムでは、必要に応じて手話通訳や字幕、音声ガイド等を手配するほか、来場者の方で手話通訳や車いす席等をご希望の場合など、可能な限り対応します。ご要望・ご相談事項は、事務局までお気軽にご連絡ください。

また、2020年度、2021年度に作成した、手話と文字による各施設の紹介動画を下記にて公開しています。詳しくはウェブサイトの「アクセシビリティ」のページをご覧ください。

<https://connect-art.jp/accessibility/>



手話通訳、要約筆記を入れたトークイベントの様子（2024年）



施設紹介動画（京都国立近代美術館）

開催プログラム（一部）

下記ほか、多彩なプログラムを開催予定です。すべてのプログラムの詳細は、CONNECT₂のウェブサイト（<https://connect-art.jp/>）でご覧いただけます。事前申込制のイベントについては、ウェブサイト、または電話（075-255-9757）にて申込を受け付けています。

CONNECT₂プログラム - 複数の文化施設が連携して企画・実施するプログラム

■「こちこちの こちを こちあう」展示

会場：京都国立近代美術館 1階ロビー、ロームシアター京都 プロムナード、京都市動物園 図書館カフェ

来場当日はまずここへ。CONNECT₂のコンセプトやイベント情報が収集できる場所。今年6年目を迎えるCONNECT₂は、「共生」ということばの意味を捉え直すために、この展示でもさまざまな試みをおこなっています。「こちあう」というなんだか不思議な造語から、みなさんも「共生ってなに？」について考えてみませんか？

施工・デザイン：TAIYA

グラフィックデザイン：Neki inc.

協力：板垣宏明（NPO 法人アイ・コラボレーション神戸） 他

ワークショップデザイン：藏蘭悠介



昨年度の開催風景

■共生・多様性・アクセシビリティについて考えるトーク **要事前申込**

6年目を迎えるCONNECT2が、過去5年間を振り返り、CONNECT2が目指す「共生」とはどういう状況なのかについて、ゲストと共に改めて考えるトークイベントを開催します。

①12月14日（日） 11:00～12:30「CONNECT2の5年間をふりかえる」

CONNECT2参加施設のスタッフが過去5年間を振り返ります。

出演：小倉由佳子（ロームシアター京都 プログラムディレクター）、影山侑恵（京都市京セラ美術館 学芸員）、坂本英房（京都市動物園 シニアアドバイザー）、松山沙樹（京都国立近代美術館 学芸課 研究員）、林屋祐子（モデレーター：京都新聞 文化部）

会場：京都国立近代美術館 1階講堂

②12月14日（日） 14:30～16:00「文化施設における『共生』をいま再考する」

アクセシビリティの研究者、実践者らがCONNECT2の過去の活動を踏まえて、改めて文化施設における「共生」について再考します。

出演：河合翔（立命館大学生存学研究センター 客員研究員）、竹内利夫（徳島県立近代美術館 上席学芸員）、田中みゆき（キュレーター、アクセシビリティ研究、社会福祉士）、塩瀬隆之（モデレーター：京都大学総合博物館 准教授）

会場：京都国立近代美術館 1階講堂



画像：昨年度の開催風景

・・・そのほか、「CONNECT2プログラム」では、スタンプを集めた方にCONNECT2オリジナルの記念品を進呈する「岡崎公園をめぐる！CONNECT2スタンプラリー」や、4施設のショップに、障害のある方の表現に関わる商品を集めた特設コーナーを設置する「CONNECT2特設ショップめぐり」を開催します。

参加施設プログラム - 各文化施設の特徴を活かした、ここでしか味わえない展示やワークショップ

■京都国立近代美術館

ワークショップ「みる、をつたえる」 **要事前申込**

絵や立体の色や形、感じた思いを、手話や声に頼らず、からだの動きで表し、伝え合ってみるワークショップです。

（画像：過去の開催風景）

日時：12月7日（日）①10:30～12:00、②14:00～15:30

会場：京都国立近代美術館 1階講堂 ほか

講師：徳江サダシ（アートトラベラー）、横尾友美（アーティスト）

対象：どなたでも（小学3年生以下は保護者も一緒にご参加ください）



・・・そのほか、11月29日（土）には、「手だけが知ってる美術館 第7回 ふらっと鑑賞プログラム」を開催し、CONNECT2会期中を通して、1階ロビーに「ここちあい広場」や「ここちのここちをここちあう」展示を展開します。

■京都市京セラ美術館

互いの作品を鑑賞する 光島貴之×河口龍夫（映像展示）

全盲の美術家・光島貴之と、「関係」をテーマに制作を続ける美術家・河口龍夫が、互いの作品を鑑賞し、対話する様子を記録した映像を展示します。

（画像：河口龍夫《関係－種子・向光性》1999年、京都市美術館蔵）

日時：会期中ずっと（月曜休館）

会場：京都市京セラ美術館 本館2階談話室

協力：滋賀県立美術館

※展示作品入れ替え作業のため、12/14（日）16:00以降は談話室前の廊下を封鎖します。お越しの方は係の者がご案内しますので、エレベーター付近の警備員にお声がけください。



■京都府立図書館

展示「100年前の京都インバウンド」

百年前の京都観光を資料とARでご覧いただけます。

（画像：昨年度の展示風景）

日時：11月8日（土）～12月14日（日）（月曜、第4木曜休館）

会場：京都府立図書館 2階ナレッジベース

・・・そのほか、12月6日（土）にはトークとワークショップ「だれもが“読書”を楽しむために」を開催します。



■京都市動物園

Ontennaで感じる、動物たちのこえ・いろ・かたち 2025

要事前申込

音の特徴をからだに伝達する「Ontenna（オンテナ）」を使って、開発者と職員からの解説付きで、動物の鳴き声を振動と光で感じてみましょう。CONNECT2_開催期間中、園内ではパネル展示も開催（パネル展は要入園料）。（画像：昨年度の開催風景）

日時：11月29日（土）、30日（日） 両日 10:30～12:00

会場：京都市動物園 園内およびレクチャールーム

講師：本多達也（ゲスト／「Ontenna」開発者、富士通株式会社）、坂本英房（京都市動物園 シニアアドバイザー）

・・・同日11月29日（土）、30日（日）の13:30からは、ワークショップ「動物園でさわってみよう」を開催し、CONNECT2_会期中を通して、図書館カフェに「こちこちの こちを こちあう」展示を展開します。



■ロームシアター京都

なんでも OK なダンスパフォーマンス

鑑賞マナーのない、ダンスパフォーマンス。一緒に踊っても、出たり入ったりしながら鑑賞してもOK。最後には感想を共有する時間も設けます。（画像：撮影＝堺俊輔）

日時：12月13日（土） ①10:30～11:15、②14:00～14:45

※上演30分+手話通訳付きおしゃべりタイム15分

会場：ロームシアター京都 ノースホール

振付・構成：大谷悠（グランバレードダンス）

音楽・演奏：ryotaro、出演：遠藤リョウノスケ、仲谷萌、藤原美加、大谷悠

・・・そのほか、CONNECT2_会期中を通して、プロムナードに「こちこちの こちを こちあう」展示を展開します。



連携プログラム - 障害のある方の作品や表現にふれる、会期中に見られる展覧会

■第31回京都とっておきの芸術祭

絵画・陶芸・写真・書・俳句・川柳・諸工芸の7部門で、京都府内の障害のある方の作品を公募・展示。個性と才能が光る作品をご覧ください。（画像：昨年度の開催風景）

日時：12月12日（金）～14日（日） 10:00～17:00

会場：日図デザイン博物館（京都市勧業館みやこめっせ地下1階）

主催：京都障害者芸術祭実行委員会



■エイブル・アート・ムーブメント 30周年記念展示

障害者アートについてとらえ直す芸術運動「エイブル・アート・ムーブメント」の30周年を記念した企画が開催されます。30年の軌跡や、障害のある人の創造性をいかしたプロダクト、アートが人と社会を繋ぐさまざまな活動事例などを紹介します。

日時：11月28日（金）～30日（日）

※日程により開催時間が異なります。詳しくは「たんぽぽの家」ウェブサイトをご確認ください。

会場：京都市京セラ美術館 光の広間

主催：一般財団法人たんぽぽの家

公式サイト：<https://tanpoponoye.org/news/general/2025/09/100020430/>



■なづな展 2025

京都市東山区にある就労継続支援B型と生活介護の多機能型施設「なづな学園」による展覧会。利用者による自主製品や創作品が多数展示され、一部製品は購入もできます。（画像：昨年度の開催風景）

日時：12月12日（金）～14日（日） 10:00～17:00（最終日16:00まで）

会場：京都市勧業館みやこめっせ 2階 美術工芸ギャラリーA・B

主催：社会福祉法人なづな学園



こちらもおすすめ！ - CONNECT₂と関わりのある協力団体による催しを紹介します。

■エイブル・アート・ムーブメント 30周年記念フォーラム Space for the Next Things

「エイブル・アート・ムーブメント」の現在とこれからの社会にとって必要なアートの力・文化についてさまざまな視点で考え、提案する3日間のフォーラムが開催されます。出演者など詳細は「たんぽぽの家」ウェブサイトをご確認ください。（主催：一般財団法人たんぽぽの家）

日時：11月28日（金）～30日（日） ※本イベントは有料です。

会場：京都市京セラ美術館 講演室

詳細：<https://tanpoponoye.org/news/general/2025/09/100020430/>

■2025年度共生の芸術祭「いま、なにしてる？」巡回展

毎年テーマを設け、京都府内外の障害のある方の表現を幅広いジャンルで紹介する、今年で12回目を迎える芸術祭です。（主催：きょうと障害者文化芸術推進機構）

日時：2026年2月4日（水）～8日（日） 10:00～18:00 ※開催時期が異なります。ご注意ください。

会場：市民交流プラザふくちやま 市民交流スペース・ギャラリー（福知山市駅前町400番地）

■ CONNECT2_プログラムスケジュール (会期：2025 年 11 月 28 日～12 月 14 日)

スケジュール表 2025年11月・12月		28 (金)	29 (土)	30 (日)	1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)	8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	14 (日)
1 京都国立近代美術館	CONNECT2_プログラム 「こちこの こちを こちあう」展示				休							休	休	休				
	CONNECT2_プログラム 共生・多様性・アクセシビリティに ついて考えるトーク①、②																	
	こちあい広場				休							休	休	休				
	ワークショップ「みる、をつたえる」																	
	手だけが知っている美術館 第7回 ふらっと鑑賞プログラム																	
2 京都市京セラ美術館	互いの作品を鑑賞する 光島貴之×河口龍夫(映像展示)				休							休						
	エイブル・アート・ムーブメント 30周年記念展示																	
3 京都府立図書館	トークとワークショップ 「だれもが“読書”を楽しむために」																	
	展示「100年前の京都インバウンド」				休							休						
4 ロームシアター京都	CONNECT2_プログラム 「こちこの こちを こちあう」展示																	
	なんでもOKなダンスパフォーマンス																	
5 京都市動物園	CONNECT2_プログラム 「こちこの こちを こちあう」展示				休							休						
	Antennaで感じる、 動物のこえ・いろ・かたち2025																	
	動物園でさわってみよう																	
6 京都市勧業館 みやこめっせ	第31回 京都とおきの芸術祭																	
	なづな展2025																	
1～6	CONNECT2_スタンブラリー ※																	
1、2、4、6	CONNECT2_特設ショップめぐり ※																	

※施設によって休館日や設置期間が異なります。詳細はウェブサイトをご確認ください。

■ 会場アクセスについて

CONNECT2_プログラムの会場である京都国立近代美術館（京都市左京区岡崎円勝寺町 26-1）へは、以下の交通機関が便利です。

京都市営地下鉄東西線 「東山」駅下車、1 番出口より徒歩約 10 分
 京都市バス 「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
 「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車、徒歩 5 分
 「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩約 10 分

■ WEB&SNS

【WEB】 <https://connect-art.jp/>
 【X (旧 Twitter)】 https://x.com/CONNECT_KYOTO
 【Facebook】 <https://www.facebook.com/CONNECT.ART.KYOTO>
 【Instagram】 https://www.instagram.com/connect_art_kyoto/
 【YouTube】 https://www.youtube.com/@connect_art_kyoto

お問い合わせ 事業詳細及び広報用画像、取材依頼等は事務局へお問い合わせください。

CONNECT2_事務局（京都新聞COM） 担当：岩崎、向井、西森 （受付時間：平日 10:00～17:00）
 〒604-8567 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町 634 ONEST 京都烏丸スクエア 京都新聞COM 営業局事業部内
 TEL: 075-255-9757 / FAX: 075-255-9763 / Mail: connect-art@mb.kyoto-np.co.jp

（令和 7 年度文化庁委託事業「障害者等による文化芸術活動推進事業」）

